

学術コミュニケーションとオープンアクセスのための図書館員の能力要件

任務領域	業務内容	備えておくべき知識	理解しておくべき事柄	必要とされる能力	関連業務等
学術成果の公表支援 (職名の例) <ul style="list-style-type: none"> ● スカラリー・コミュニケーション・ライブラリアン ● スカラリー・パブリケーションズ・ライブラリアン ● 電子資料契約担当ライブラリアン ● メタデータ・アンド・スカラリー・パブリッシング・ライブラリアン 	雑誌、図書、会議発表論文、ワーキングペーパー、その他教員や学生からの学術成果を、各機関のまたはホスト型のデジタル出版プラットフォームを通じて、出版サービスを提供する。 コンテンツの登録、説明(メタデータの付与?), アクセス、保存を提供するため、リポジトリ担当者や他の専門家と協力する。	<ul style="list-style-type: none"> ● 商業出版及びオープンアクセス出版の出版プラットフォーム ● 出版ワークフローと運用モデル ● 編集過程 ● 以下の規格。デジタルオブジェクト識別子(DOI)、国際標準逐次刊行物番号(ISSN)、国際標準図書番号(ISBN)、OpenURL や CNRI ハンドルなどの永続的な URL および引用オプション ● 資金提供者の OA 義務化方針と要件 ● メタデータ標準と発見ツール 	<ul style="list-style-type: none"> ● オープンアクセスと学術コミュニケーションの最新動向と課題 ● データキュレーションと保存方法 ● オープンアクセスに関するライセンス問題 	<ul style="list-style-type: none"> ● OJS や OMP (Public Knowledge Project) など OA 出版用サーバソフトウェア管理を管理する。 ● 容量とインフラの開発のために機関の IT 専門職と協働する。 	類縁性の高い業務 <ul style="list-style-type: none"> ● リサーチ・データ・マネジメント、コレクション構築 ● (情報) 技術サービス ● (著作権、(出版) ポリシー等の) アドボカシー・サービス ● 情報リテラシー 協働することになる相手 <ul style="list-style-type: none"> ● サブジェクト・ライブラリアン及びリエゾン・ライブラリアン ● デジタル・イニシアティブ・ライブラリアン ● デジタル・ヒューマニティーズ・ライブラリアン ● (情報) 技術サービス担当ライブラリアン ● (電子資料以外の) 契約担当ライブラリアン ● データ・ライブラリアン
機関リポジトリの運営 (職名の例) <ul style="list-style-type: none"> ● 機関リポジトリ担当ライブラリアン ● デジタルリポジトリ担当ライブラリアン ● デジタル・スカラシップ・サービス・ライブラリアン ● リサーチ・サービス・ライブラリアン 	機関とそのコミュニティメンバーが作成したデジタル資料を収集し、管理し、広める。	<ul style="list-style-type: none"> ● オープンアクセス方針と必要条件 ● リポジトリシステム、メタデータ標準、発見ツール ● データフォーマット、データベース設計、データ管理、操作ツール 	<ul style="list-style-type: none"> ● オープンアクセスと学術コミュニケーションの最新動向と課題 ● 学術コンテンツに関する著作権とライセンスの問題 ● データキュレーションと保存の実践 	<ul style="list-style-type: none"> ● リポジトリプラットフォームの管理とシステム更新 ● リポジトリに研究成果を掲載するために研究者と協働する。 ● エンバーゴ期間などセルフアーカイブについての方針に関する問題(APC が関係してくる場合もある) について、出版社と連絡調整を行う。 	(職名の例) <ul style="list-style-type: none"> ● スカラリー・コミュニケーション・ライブラリアン ● 著作権担当ライブラリアン
著作権とオープンアクセスについてのサポート (職名の例) <ul style="list-style-type: none"> ● スカラリー・コミュニケーション・ライブラリアン ● 著作権担当ライブラリアン 	教員と学生に著作権やオープンアクセス方針、サービス、資源、または、オープンアクセスのライセンスや出版の代替案について、相談と教育を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> ● 伝統的な著作権やクリエイティブ・コモンズ、その他の OA ライセンスに関する、著作権とライセンスの問題 ● オープンアクセスの方針と要件 ● オープンアクセスと学術コミュニケーションの最新動向と課題 	<ul style="list-style-type: none"> ● 従来型の学術出版システム 	<ul style="list-style-type: none"> ● OA に対する意識を高める。資金調達や方針の遵守などについての実践的な疑問への対応など。 ● 学術成果の著作権を譲渡することについて、教員と大学院生に代替案について助言を提供する。 	
学術資料の評価 (職名の例) <ul style="list-style-type: none"> ● アセスメント・ライブラリアン ● スカラリー・コミュニケーション・ライブラリアン 	学術的な資源評価と、伝統的な計量書誌学、そして新しく出現しつつある測定基準に関して、専門知識、協議、およびアウトリーチをキャンパスコミュニティに提供する。	<ul style="list-style-type: none"> ● 雑誌やその他の資料の評価基準 ● 計量書誌学とアルトメトリクスの理論と実践 	<ul style="list-style-type: none"> ● 教職員の昇進および任期に関する方針と手続き ● 学術成果に対する機関の評価または計画への関心 	<ul style="list-style-type: none"> ● 教員が雑誌や他の学術資料の価値を見定めるときに助力する。 ● 品質指標に関して図書館の収集部門に助言を提供する。 	

免責事項：本翻訳は JPCOAR 人材育成作業部会による研修体系検討の予備的資料とするために行われた。対象両文書の「日本語版」を称するに足るクオリティは目指されておらず、分担作業上、翻訳にあたっての術語の統一の配慮等も行っていない。両文書の詳細・正確な理解のためには原典にあたられたい。

翻訳作業：片岡朋子(お茶大)、今野智子(甲南大)、下城陽介(上教大)、杉田茂樹(上教大)、長嶋岳生(室工大)、花崎佳代子(神戸大)、前田隼(北大)